

北中学校だより

楓

(かえで)

令和8年10月2日(金)

第30号 東金市立北中学校

〒283-0803 東金市日吉台 1-20

TEL 0475-50-2288

発行者：校長 久我 和廣

学校教育目標

創 【未来を拓く】

～輝く瞳、笑顔とあいさつ、光る汗～
めざす生徒像

「考え、行動し、夢をもって成長する」生徒

- (1) 学び合い、高め合う生徒⇒輝く瞳・・・(知)
- (2) 認め合う、心豊かな生徒⇒笑顔とあいさつ・・・(徳)
- (3) 心身共に健康な、たくましい生徒⇒光る汗・・・(体)

校訓 自分らしさを光らせて

めざす学校像

- (1) 学力向上に努める学校
- (2) あいさつと歌声が響く学校
- (3) 安全で安心してすごせる学校
- (4) 地域とともに歩み、信頼される学校



凡事徹底

～ひとつ拾えばひとつだけきれいになる～

「ひとつ拾えばひとつだけきれいになる」
この言葉はイエローハット創業者の鍵山秀三郎氏の言葉です。

鍵山秀三郎氏を師として仰ぎ、現在NPO法人 日本を美しくする会顧問の利 哲雄氏が、会社の社長として就任して数年後に会社が倒産寸前の危機に陥った時、鍵山秀三郎氏を訪ね、会社の経営について指導を仰いだそうです。そこで、学んだのが「清掃の重要性」だったのです。

鍵山氏は、自動車業界に入ってくる渡り鳥的な荒れた社員の心を穏やかにしたいとの考えから、自分自身の態度で示す方法としてトイレ掃除を始めました。最初は、社員から「あてつけがましい」と批判されることもありましたが、くじけずに継続し、10年以上の月日が流れたときに、一人また一人と社員が手伝うようになったそうです。

そして、12年が経ったころ、社員が自発的に掃除や洗車を始めるようになり、その後、掃除に参加する社員が少しずつ増えていくようになりました。さらに10年後には、ほとんどの社員が早朝から洗車をしたり、会社と近隣の道路の清掃を始め「掃除をするよい会社だ」との評判が立つにいたったそうです。

これを聞いた、利氏は早速、自分の会社でも自ら清掃に取り組み、少しずつ賛同者を増やし、会社を立て直すことに成功したということでした。

「凡事徹底」とは、「当たり前のことを当たり前」にやることではなく、「当たり前のことを他人にはまねできないほど一生懸命にやること」です。

「ひとつ拾えばひとつだけきれいになる」という言葉を残し、「日本を美しくする会」を立ち上げた鍵山氏、そしてそれを引き継いだ利氏。

現在は「掃除道を日本から世界へ広げよう!」「一人の百歩より、百人の一步」を合言葉に、全国各地を回って清掃活動を行ったり指導したりしているそうです。

「なぜ、トイレ掃除なのか?」という質問に対し、利氏は、以下のように言っています。

1 謙虚な人になれる

どんなに才能があっても、傲慢な人は人を幸せにできない。人間の第一条件は謙虚であること。謙虚になるための一番の近道がトイレ掃除である。

2 気づく人になれる

世の中で成果を上げる人とそうでない人の差は無駄があるかないかである。無駄をなくすためには、気づく人になることが大切。その「気づき」を引き出してくれるのがトイレ掃除である。

3 感動の心をはぐくむ

感動こそ人生。人を感動させるには、自分が感動できる人間になること。人が 手と足と体を使い、さらに身を低くして 一生懸命に取り組んでいる姿は、まさに感動である。特に人が嫌がるトイレ掃除は最良の実践である。

4 感謝の心が芽生える

人は幸せだから感謝するのではない。感謝するから幸せになれる。トイレ掃除は、小さなことにも感謝できる感受性豊かな人間をつくる。

5 心を磨く

心を取り出して磨くわけにはいけないので、目の前に見えるものを磨く。特に、人が嫌がるトイレをきれいにすると、心も美しくなる。人の心は、いつも見ているものに似てくるものである。

鍵山秀三郎氏は、掃除というものは、ただ場所をきれいにするだけでなく、人の可能性を引き出したり、人と人のつながりまで作ったりする。掃除は、人生を豊かにするものであり、すべてのものを包み込んで浄化していくものだ。

掃除の輪が広がれば、世の中から「悪」や「濁」が消えていく。経済の発展とともに失いつつあった豊かな精神、謙虚な心をもう一度育み、この国の未来を切り開いていくと言っています。

